

NEWS

12

崖崩れや地滑りなど土砂災害の前触れを知っている

▶解説 Dへ

11

家具や大型家電には転倒防止対策をしている



13

市が発令する避難勧告などの避難情報の内容を理解している

▶解説 Eへ

14

家族で災害時の連絡手段を決めている



15

ケーブルテレビやラジオで放送している宮崎市の防災番組があることを知っている

▶解説 Fへ

16

住んでいる地域で、高齢者や障がい者など、避難に支援が必要な人を把握している

▶解説 Gへ

18

自治会や子ども会などで、日ごろから地域とつながりがある

19

災害情報や避難情報の入手方法を知っている

▶解説 Hへ

20

地震や大雨など、災害の種類によって避難場所が異なることを知っている

▶解説 Iへ

17

宮崎市防災メールに登録している



▶解説 Hへ

特集 1

# 災害対策

## 市民一斉チェック!

その備えでホントに大丈夫ですか?

災害に対する家庭や地域での備えや、防災について知っておきたい情報などのチェックリストを作成しました。備えができていない項目には「」を記入してください。



3

学校や職場の近くの避難場所や避難経路を家族全員が理解している

▶解説 Aへ

2

ハザードマップで、危険箇所を確認している

▶解説 Aへ

1

自宅付近の避難場所や避難経路を家族全員が理解している

▶解説 Aへ

4

地域の避難訓練や防災研修などに参加している



5

食料や飲料水などを1人あたり最低3日分は備蓄している

▶解説 Bへ

6

避難する際に必要な物を把握できている

▶解説 Bへ

7

非常持ち出し品は目に付きやすく取り出しやすい場所に置いてある



10

局地的な大雨の前触れを知っている

▶解説 Dへ

9

雨どいや自宅の周りの排水溝は、日ごろから落ち葉や土砂を取り除き、継ぎ目が外れていないかなども確認している



8

津波警報や津波注意報が出た際に取るべき行動を理解している

▶解説 Cへ

地震や風水害などの自然災害は、私たちの想像を超える力で襲ってきます。被害を少なくするには、災害に対する日ごろの備えが大切。現在の対策が十分かどうかを確認し、備えをお願いします。

【問】危機管理課  
☎21-1730  
FAX.25-2145

解説 災害ごとの対応

# C 地震

じしん



気象庁では、地震発生直後に「緊急地震速報」を発表しています。速報が出てから大きな揺れが到達するまでは、数秒～数十秒とわずかな時間しかありません。普段から万が一の行動を想像しておきましょう。

### 地震発生時の行動

- 自宅
  - ・頭を保護し、テーブルなどの下で自分の身を守る
  - ・火の始末をする
  - ・ドアや窓を開けて逃げ道を確認
- 商業施設など
  - ・施設の誘導係員の指示に従う
  - ・頭を保護し、揺れに備えて身構える
  - ・慌てて出口・階段などに殺到しない
- 自動車の運転中
  - ・急停車せず、ハザードランプを点灯させながら徐行して停車
  - ・揺れが収まるまで車内で待ち、鍵を付けたまま車外へ出て避難

### 津波で気を付けること

津波から自分の身を守るため、以下の行動をしっかり把握したうえで、直ちに避難してください。

### 津波発生時の行動

- 警報を待たずに避難してください  
震源が陸地に近いと津波警報が津波の襲来間に間に合わないことがあります。
- 津波見物には絶対行かないください  
津波のエネルギーは想像以上です。わずか10cmの波でも足をとられます。スマトラ島沖地震の際には、津波を見物していて被害に遭った人もいました。決して、海岸や河口に近づいてはいけません。
- より高い場所を目指してください  
沿岸の地形などの影響で、津波は局部的に高くなる場合があります。
- 津波警報や注意報が解除されるまでは避難をしてください  
津波は長い時間繰り返し襲ってきます。警報や注意報解除まで避難を続けてください。

## あなたの防災対策はどのレベル？

### 危険

0~5

危機感を持って  
大至急備えるべし！

いつ起こるか分からない災害に対する危機感が不足しています。避難場所や避難経路の把握など、最低限の備えから速やかに進めてください。

### 要注意

6~10

備えへの意識を改め  
基本から再チェックを！

災害に対する備えが十分ではありません。これを機に意識を改め、家族や地域で話し合うなどして、十分な対策をお願いします。

### 油断大敵

11~15

油断大敵！  
足りない備えを万全に

一定の理解や備えができていますが、油断は禁物です。不足している項目をチェックし、備えを万全にできるようにしてください。

### 備えあり

16~20

さらに備えながら  
周囲にも声掛けを

災害に対する十分な備えができています。自分や家族だけでなく、友人や地域の人に対しても、備えが浸透するよう啓発をお願いします。

重要な備えについて 解説 を読んで理解を深めましょう！

# D 水害

すいがい



水害をもたらす大雨の前兆が見られたら、川からすぐに離れ、安全な場所に避難してください。山側から雨雲が近づく場合は、河川の増水がより早くなり、特に注意が必要です。テレビやラジオなどで発表される情報にも注意し、警戒をお願いします。

### 局地的大雨の前兆(例)

- 真っ黒い雲が広がり、周囲が急に暗くなる
- 大粒の雨や「ひょう」が降り出す
- 雷鳴が聞こえたり、雷光が見えたりする
- 急に冷たい風が吹き出す

### 土砂災害で気を付けること

土砂災害は大きく「崖崩れ・山崩れ」、「地滑り」、「土石流」の3種類があります。前兆に気付いたら速やかに安全な場所に避難してください。大雨の時は、テレビやラジオの「土砂災害警戒情報」にも注意をお願いします。



### 土砂災害の前兆(例)

- 崖崩れ  
崖にひび割れができ、小石が落ちてくる
- 地滑り  
地面にひび割れができ、斜面から水が吹き出す
- 土石流  
山鳴りがし、急に川が濁り流木が混ざっている

### 雨の強さと想定される被害

10~20ミリ  
やや強い雨  
長く続く場合は注意が必要

20~30ミリ  
強い雨  
側溝や下水などがあふれ、小規模の崖崩れが始まる

30~50ミリ  
激しい雨  
山崩れや崖崩れの危険性が高まり、避難の準備が必要

50~80ミリ  
非常に激しい雨  
マンホールから水が噴出し、土石流が起こりやすくなる

80ミリ~  
猛烈な雨  
大規模な災害の発生する恐れが強く、厳重な警戒が必要

## 解説 日ごろからの備え

### B 災害に備えた備蓄品

災害が発生すると、電気や水道などのライフラインが機能しなくなる場合があります。いざという時に備え、ライフラインが止まっても生活できるよう、次のような備蓄品を最低でも3日分は用意しておきましょう。



### 備蓄品(例)

- 飲料水(一人1日3L×3日分)
- ごはん(アルファ米など一人5食分)
- 一人最低3日分の食料(ビスケット、板チョコ、乾パンなど)
- 下着、衣類、トイレトーパー、マッチ、ろうそく、カセットこんろなど

避難の際は、3日分の飲料水と食料、服用中の薬、携帯電話などを持っていきましょう。

### A ハザードマップって？

市では、大規模な津波や洪水が発生した時に、市民の皆さんがスムーズに避難し、被害を最小限にとどめるために、「津波」と「洪水」の2種類のハザードマップを作成しています。日ごろの備えに役立ててください。

### 掲載している内容

- 津波ハザードマップ  
想定される津波の浸水範囲や深さ、指定避難所、避難の心得など
- 洪水ハザードマップ  
想定される洪水の浸水範囲や深さ、雨の降り方の目安など



# 災害は「忘れたころ」ではなく いつでも起きる恐れがあります!

平成17年の台風14号が本市に大きな被害をもたらしたのは記憶に新しいところ。「災害は忘れたころにやってくる」とはよく言われますが、実際には忘れる間もないほど身近であることを念頭に置き、備えておく必要があります。

台風14号での避難の様子  
(平成17年)

台風や前線の停滞がもたらす  
局地的な大雨にはご注意を!

6月21日、前日からの大雨の影響で大淀川の水位が上がり、市役所南側の河川敷駐車場が水に浸かりました。局地的な大雨がもたらす影響が身近にあることを感じさせます。

### 宮崎市を襲った近年の台風

平成19年7月	台風4号	最大瞬間風速 38.8m/s
平成19年8月	台風5号	最大瞬間風速 34.9m/s
平成20年9月	台風13号	最大瞬間風速 22.5m/s

### 宮崎市で震度4以上を記録した近年の地震

平成21年4月	震度4	震源地:日向灘/M5.6
平成26年8月	震度4	震源地:日向灘/M6.0
平成28年4月	震度4	震源地:熊本県熊本地方/M7.3

十分な備えを  
よろしく願います!



危機管理課  
主任主事  
ひらはら たくし  
平原 拓司

**災** 害からの被害を最小限にとどめるためには、皆さん一人一人が常日ごろから災害への備えについての意識を持つことが大切です。今回の特集では、宮崎市防災メールの登録や、非常持ち出し品の準備

備災害に備えて身に付けておきたい主な知識などをまとめました。家族や地域の皆さんで相談をしながら、日常の生活のなかで実践できることからみんなで取り組んでいただきたいと思います。

## あなたはいくつ✓が入れましたか?

知っているつもりでも実は間違っ認識していたり、備えの大切さは理解しているが準備ができていなかったりする項目があったのではないのでしょうか。いつ災害が起きても対応できるよう、万全な備えをお願いします。

私もチェックしてみました!



20/  
**17**

自営業  
ほりのうち つよし  
堀之内 強さん (60歳)

熊本の友達が震災にあって大変でした。避難用の食料品などがまだ準備できていないので、しっかり備蓄しようと思います。



20/  
**7**

会社員  
えのきはら ちほ  
榎原 千穂さん (37歳)

災害に対する認識がまだまだ甘いなと感じました。宮崎市に転居してまだ間もないので、避難場所や避難経路などを調べます!



20/  
**5**

会社員  
たけうち たかよし  
竹内 貴誉詞さん (28歳)

知らないことが多すぎて驚きました。家族や友人を守るためにも、防災意識をしっかりと持って日ごろから備えておきたいと思っています。



20/  
**4**

会社員  
もりも みき  
森茂 美樹さん (24歳)

災害に対する準備が全くできていないことが分かりました。自分の身を守るためにも、できることからやろうと思います。

## 解説 覚えておきたい 災害関連情報

### E 市が発令する避難情報の種類

市では災害時に市民の皆さんに対し、3通りの避難の呼び掛けを行います。避難情報を発令した場合は、あらかじめ指定されている避難所を開設しますので、速やかに避難してください。

### 避難情報深刻度グラフ



### G 避難に支援が必要な人

高齢者や子ども、障がい者、外国人など、危険に気付くことができず、適切な行動が取りにくく、避難時に支援が必要な人のことを「要配慮者」といいます。いざという時、要配慮者の頼りになるのは地域の人です。普段から、支援が必要な人の把握や、声掛けをお願いします。



### 「福祉避難所」をご存知ですか?

指定避難所に避難された要配慮者の中で、避難生活に何らかの支障を来す人のために、市の判断で二次的に開設される避難所のことです。要配慮者の最初の避難先は、指定避難所です。医療機関の入院や福祉施設の入所が必要な人は対象外です。

### I 避難所の種類

避難所には「指定緊急避難場所」と「指定避難所」があります。

- 指定緊急避難場所  
災害が発生する恐れがある時や災害が発生した場合、危険から逃れるために一時的に避難する施設や場所です。津波時に避難する高い建物や、地震時に避難する公園、運動場などです。洪水、地震、津波などの種類で避難場所が異なります。
- 指定避難所  
災害の危険があり、危険性がなくなるまでの間、避難した人が滞在できる場所です。災害によって帰宅できなくなった人が、一時的に滞在できる施設となります。学校や公民館、体育館などがあります。



### F テレビやラジオの防災番組

市では、市民の皆さんの防災意識の向上を図るため、宮崎ケーブルテレビ(毎日21:30から)と宮崎サンシャインエフエム(毎月最終木曜15:40から)で防災番組を放送しています。災害の備えや災害時に気を付けることなど、防災に役立つ情報を発信しています。



### 放送内容(例)

- 宮崎ケーブルテレビ  
雨の降り方ごとの影響、地震のメカニズムなど
- 宮崎サンシャインエフエム  
9月…… 竜巻の発生・前兆現象の説明など  
10月…… 日ごろからできる津波災害の備えなど

### H 宮崎市防災メール

災害情報や避難情報は市ホームページや防災メールで入手できます。宮崎市防災メールに登録すると、災害などに関する情報がメールで届きます。登録は無料で簡単ですので、ぜひ登録してください。

### 防災メールで届く情報

- ・大雨警報などの気象情報
- ・地震情報
- ・津波予報
- ・避難情報
- ・竜巻注意情報 など

